

# 104-224

## 問題文



1. アナフィラキシーの初期症状が現れたら、ショック症状が発現する前に投与する。
2. 正しい持ち方は、図のとおりである。
3. 注射部位に垂直になるようにし、強く押し付ける。
4. お尻に注射する。
5. 緊急時には、衣服の上からでも注射することができる。

---

## 解答

問224 : 3問225 : 4

## 解説

### 問224

アナフィラキシーショックは、Ⅰ型アレルギー反応の一種です。Ⅰ型アレルギーは、IgEが関与します。

選択肢 1 ですが

抗体依存性細胞障害は、Ⅱ型アレルギーに関与する反応です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

免疫複合体を形成するのは、Ⅲ型アレルギーです。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

これは細胞型免疫の話です。アレルギーの分類としてはⅣ型と考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

選択肢 1 と同様にⅡ型アレルギーに関与する反応と考えられます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問224 の正解は 3 です。

**問225**

選択肢 1 ～ 3 は妥当な記述です。

エピペンを注射する部位 は、太もも か、上腕部 です。お尻ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。 また、本人が注射できないような緊急時は、近くにいた人が注射してもよいです。

以上より、問225 の正解は 4 です。